



# ほんものを たべよう

提出日	7/7	7/8	7/9	7/10
配達日	7/14	7/15	7/16	7/17
翌々週分配達日	7/21	7/22	7/23	7/24

2020.7月3週号

Alter Weekly Order Catalogue

## オルターの提案

本当に安全な食べものを手渡すために

- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

## 野菜 VEGETABLES

# 人が喜びを得て生きる農業

経営者から新規就農者へ

## 奥丹波里山農園・兵庫県

文責 西川 榮郎 (NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)

### 自家採種が基本

兵庫県丹波市市島町の奥丹波里山農園、岸下正純さんは、農薬・化学肥料を使わないで有機農業を行い、オルターへ野菜セットや単品の野菜を出荷しています。

使う肥料は自家製の稲ワラ、もみ殻、米糠、落ち葉、刈草などの堆肥です。

種子は自家採種を基本とし、購入しているF1種子の使用は全体の15%程度に抑えています。

作付状況は、人参、大根、玉ねぎ、じゃがいも、実エンドウ豆、絹さや、えんどう豆、そら豆、キャベツ、ブロッコリー、紫水菜、からし菜、ちぢみ菜、スイスチャード、レタス、空芯菜、モロヘイヤ、ネギ、カボチャ、キュウリ、トマト、ナス、しし唐、ピーマン、ズッキーニなどです。

野菜セットは通年企画で、葉もの、実もの、根菜などの品目を偏らないようセットし、毎週の組合わせを変化するように工夫しています。

### 食べものは自分で作るのが基本

岸下さんは2013年まで鉄工所を経営していました。就農のきっかけは東日本大震災です。年齢的にも62歳になっていたこともあり、「災害」や「死」と向き合う中で、「農」「食」「自然」と「人」との関係を考えました。経済優先の農業のあり方への疑問、人が健康になる農とは、自然にとってより良くなる農とは。食べものは出



来る限り自分で作るのが基本ではないか?その中で、自然にやさしく、人にもやさしい農に少しでも近づけたらいいのではないかと。そんな想いで、1年数ヶ月後、現在の地に縁を得て、移住して就農しました。圃場は3年以上耕作放棄した畑を選んでいきます。

### 生物の循環を壊さない農業

農業に関心を持ったきっかけが生命の神秘でした。土壌中の微生物と共生している人間は、すべての生物の循環の中でしか生きられません。その考えが根底にあるので、循環を壊す農薬や肥料は使いません。

2016年7月に私がうむ農園の高橋秀彰さんの取材に行き、その仲間としての岸下さんに最初にお会いした頃は、安心・安全とはこういうものだという、他から得た知識によって、こうでなければならぬといった自我の念にとらわれていたそうです。まだ経験も浅く、周りの農家の考え方にも批判的だったそうです。

### 自然や地域の人々との関係を大切に

農に取り組んで5年が過ぎ、6回目の春を迎えたころ、「農業ありきではない、考えるべきことは、人としてのあり方、生き方にある」と思うようになりました。マイナスの波動ではなく、愛の波動、和の波動を発したいと思うようになったそうです。



奥丹波里山農園の岸下正純さん

地域の人々と仲良くし、共により良い方向へ向かう。資源や環境を生かし、自然界との調和を大切にす、そんな農でありたいと思っています。

### 8合目からが正念場

特別な農法という形はありません。人の生活は自然との戦いであり、自分自身との戦いです。自分の農業に岸下さん自ら点数をつけるとすれば80点だそうです。登山と同様、8合目のこれからがたいへんな正念場になるだろうと感じています。

### 個人から地域・国の自給自足を

個人の自給自足から「地域」さらには「国」の自給自足を担いたいと考えています。自然を守る、動物・植物と共に存在する、自然の道理に沿って生きるのみです。

人間が喜びを得て生きていくためにどうすればよいかは岸下さんにとって明確です。お金儲けで喜びを得る時代ではないと感じています。

オルターとの出会いがきっかけで、今後の自らの課題がはっきりしたそうです。自分の野菜を求める人たちと喜びを分かち合える世界が、どう展開していくのか、また作り手たちとの輪がどんなふうに広がっていくのか。楽しみはつきないそうです。

## 奥丹波里山農園の有機野菜 ☆☆☆

### ●防除

農薬の使用ありません

### ●施肥

自家製の麦わら、もみ殻、米糠、落ち葉、刈草などの堆肥

### ●栽培品目

葉もの、実もの、根菜全般

### ●種子

自家採種が基本  
購入F1種子の使用は15%程度



奥さまの三津枝さん